

企業短期経済観測調査（道北※地域分）  
（調査対象企業数：道北※37社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内  
回答社数構成比 %ポイント  
（ ）内は前回調査時予測

（判断D. I. ）

	2024/9月	12月	2025/3月	6月	9月	12月	2026/3月 までの予測
業 況 判 断						( 10)	
< 良 い - 悪 い >	16	10	11	15	13	8	-2
うち製造業	0	0	0	12	12	( 12) 0	0
非製造業	20	14	14	17	14	( 10) 10	-3
国 内 で の 製 商 品 ・ サ ー ビ ス 需 給						( -5)	
< 需 要 超 過 - 供 給 超 過 >	-6	0	-6	-3	-2	-6	-8
製 商 品 在 庫 水 準							
< 過 大 - 不 足 >	7	11	4	7	0	0	
生 産 ・ 営 業 用 設 備						( -14)	
< 過 剰 - 不 足 >	-2	-5	-8	-8	-8	-8	-11
雇 用 人 員						( -51)	
< 過 剰 - 不 足 >	-45	-49	-45	-47	-51	-56	-53
資 金 繰 り							
< 楽 だ る - 苦 し い >	13	10	5	8	5	0	
金 融 機 関 の 貸 出 態 度							
< 緩 い - 厳 し い >	23	27	20	20	14	19	
借 入 金 利 水 準						( 50)	
< 上 昇 - 低 下 >	50	50	72	45	38	31	38
販 売 価 格						( 46)	
< 上 昇 - 下 落 >	27	35	39	39	41	42	44
仕 入 価 格						( 59)	
< 上 昇 - 下 落 >	50	59	61	61	46	61	61

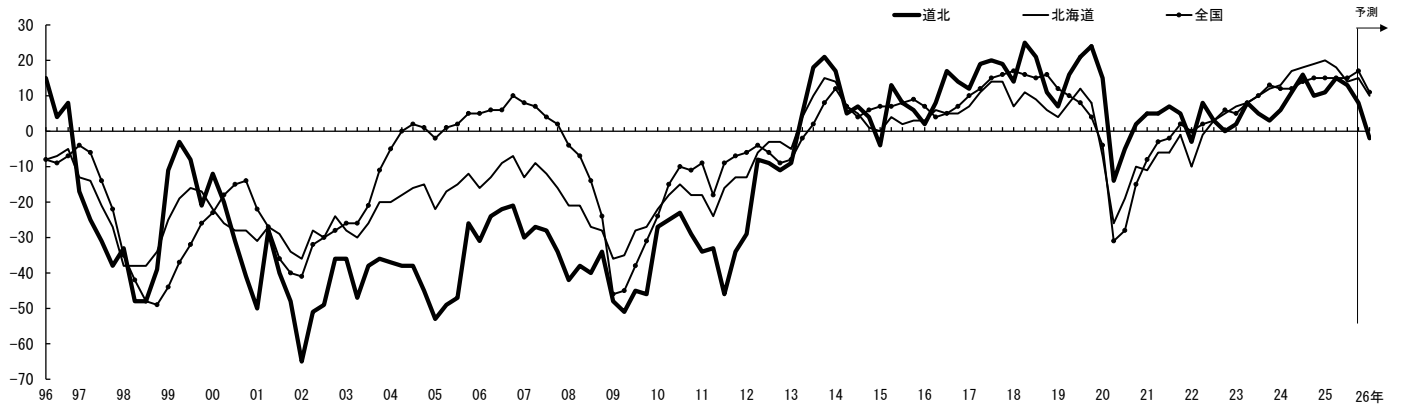
全産業、前年度比%、  
< >内は前回調査比修正率%

（事業計画）

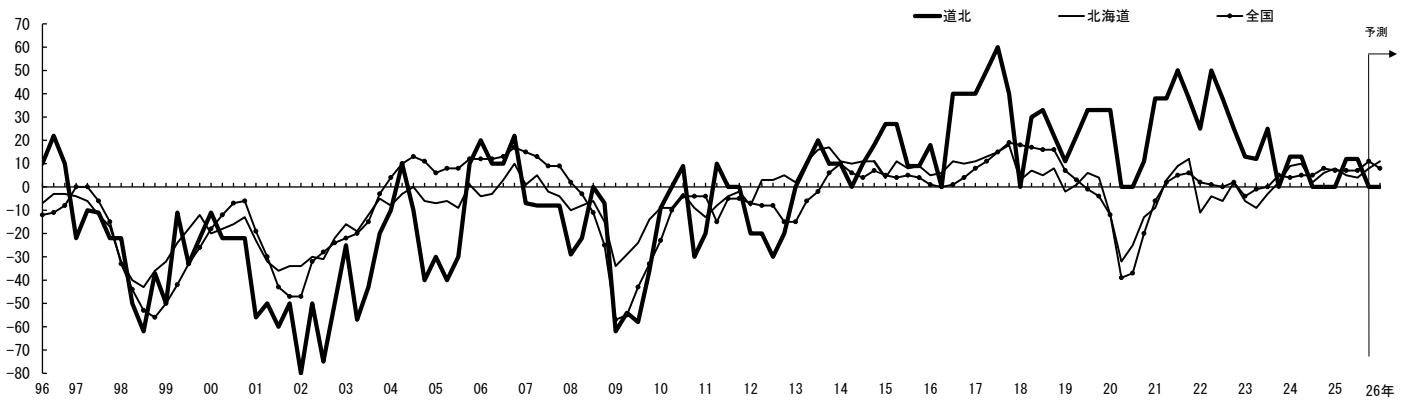
	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画			
			上期		下期	
売 上 高	-0.2	-2.5	-2.7	< -0.1 >	-7.4	< -4.7 > 1.6 < 3.9 >
経 常 利 益	3.3	-11.7	-18.5	< 7.4 >	1.8	< 23.2 > -31.3 < -4.0 >
当 期 純 利 益	22.9	-24.9	-25.0	<-11.3 >	-27.9	<-20.0 > -23.4 < -5.9 >
設 備 投 資 額	43.1	-17.9	27.0	< 0.3 >		

# 2025年12月短観・調査結果

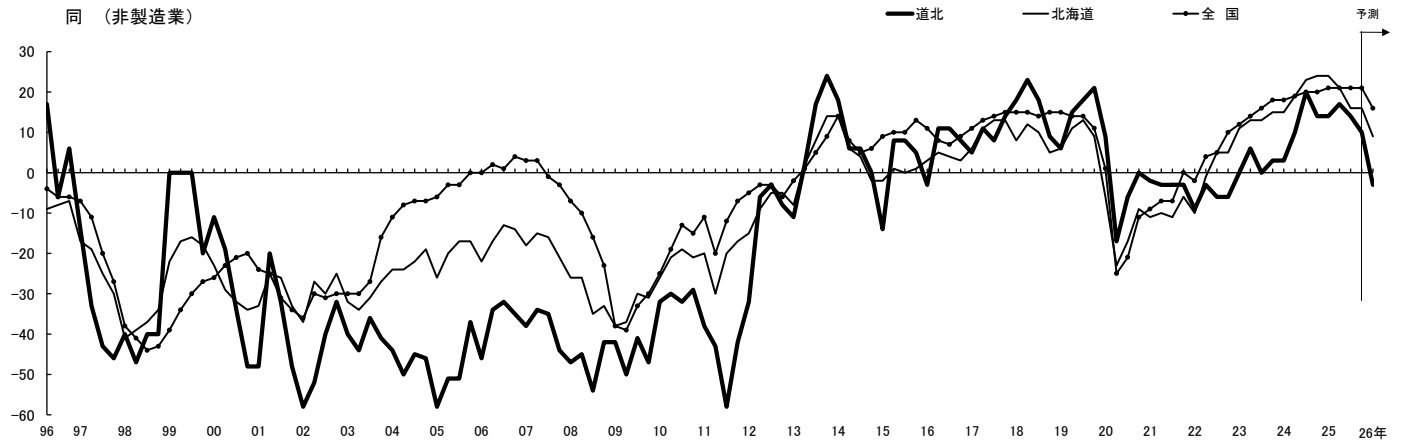
業況判断D. I. (「良い」－「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。  
2024年3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

## 道北地域の企業短期経済観測調査結果（2025 年 12 月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 37 社（製造業 8 社、非製造業 29 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 37 社）
- 回答期間：2025 年 11 月 11 日～12 月 12 日

### 1. 業況判断 DI

- 12 月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント＜以下同じ＞）は、+8 となり、前回 9 月調査から悪化した（前回+13、前回比-5）。
  - 製造業の業況判断 DI は、0 と前回調査比悪化（同+12、同-12）。
  - 非製造業の業況判断 DI は、+10 と前回調査比悪化（同+14、同-4）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、-2 との予測（12 月実績+8⇒2026/3 月までの予測-2）。
  - 製造業は横這い（同 0⇒0）を見込み、非製造業は悪化（同+10⇒-3）を見込む。

### 2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI＜需要超過－供給超過＞」（前回調査-2⇒今回調査-6）は、供給超幅が拡大した。
- 「製商品在庫水準判断 DI＜過大－不足＞」（同 0⇒0）は、過不足なしの水準で横這いとなった。
- 「生産・営業用設備判断 DI＜過剰－不足＞」（同-8⇒-8）は、不足超幅が横這いとなった。
- 「雇用人員判断 DI＜過剰－不足＞」（同-51⇒-56）は、不足超幅が拡大した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI＜楽である－苦しい＞」（同+5⇒0）は、楽である超幅が縮小したほか、「金融機関の貸出態度判断 DI＜緩い－厳しい＞」（同+14⇒+19）は、緩い超幅が拡大した。この間、「借入金利水準判断 DI＜上昇－低下＞」（同+38⇒+31）は、上昇超幅が縮小した。
- 価格面についてみると、「仕入価格判断 DI＜上昇－下落＞」（同+46⇒+61）は上昇超幅が拡大し、「販売価格判断 DI＜上昇－下落＞」（同+41⇒+42）は上昇超幅が拡大した。

### 3. 事業計画

- 2025 年度の計画は、売上高は前年度比－2.7%、経常利益は同－18.5%、当期純利益は同－25.0%、設備投資額は同＋27.0%となっている。経常利益、設備投資額は上方修正されたが、売上高、当期純利益は下方修正された。

以 上